

昔遊び

2年4組10番

1. 昔遊びとは

昔からある子どもの遊びや、子どものおもちゃが子どもから子どもへと伝承されている遊びを昔遊びと言います。昔遊びの中でも有名な遊びはあやとり、けん玉、お手玉、おはじき、コマ回しなどです。



2. 遊び方

①あやとり

1本の糸や紐を輪にして両手に掛け、おもに指を使って糸のつくりだす形を変えていく遊びです。あやとりをすることで手先の器用さが養われたり、集中力が身につく、記憶力が良くなる、達成感が生まれる、親子の触れ合いの時間が生まれるなどの嬉しい効果があります。



②けん玉

けん玉は日本で根強い人気を誇る遊びのひとつです。子供ばかりではなく、大人の間でも親しまれています。年齢や男女問わず、いつでもどこでもできることに加えて、集中力や根気を養うのにも役に立つといわれています。

いまでは単なる遊びとしてでなく、競技スポーツにもなりつつあり、全国大会などもさかんに行われています。



③お手玉

お手玉のは『振り技』(ゆり玉)とって、何個かのお手玉を手で上にあげて遊ぶ方法と『拾い技』(よせ玉)といわれるもので、奇数のお手玉を床にまき、そのうちの(親玉)を上にあげながら、残りのお手玉を寄せ集めたり、手をつくったトンネルをくぐらせたりする遊び方の大きく二つに分けることができます。



④おはじき

おはじきは一般的には平らな形をしたガラス製の「おもちゃ」です。直径は約12mmの小さなもの。指で弾いて遊ぶのでおはじきと名付けられました。おはじきが日本に伝わった当時(奈良時代)はまだ今のようなガラス製のおはじきがなかったため、小石を使っていたことから「石はじき」とも呼ばれていました。



⑤コマ回し

コマ回しはもともとお寺などで行われる縁日の余興として楽しまれていました。そしてだんだんと庶民の遊びとして定着していきました。コマがきれいに回る姿から『お金が回る』、『頭が回る』、『物事が円滑に回る』などの意味が込められており、縁起の良い遊びとして親しまれてきました。



3. 実際にやってみた感想

1. あやとり

あやとりは、様々な技が出来たり、二人あやとりもあって楽しかったです。

2. けん玉

けん玉はけん先に玉の穴をさすのがすごく難しかったです。